

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>本人の視点に立った理念をあげ個別のサービスを行っている。事業所独自の理念について毎年スタッフと話し合いを行い、その年度の目標を作り理念に基づいたケアをめざしている。</p> <p>○</p>	<p>地域に密着したサービスとして支援してゆけるよう本人、職員、家族、で話しあい、理念を発展させ求められるサービスに対応できるようにしていく。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を玄関に掲げてはいるが意識的に理念について話し合う機会は少ない。年に1度理念を基に各スタッフの目標をあげ、毎日のケアに取り組んでいる。</p> <p>○</p>	<p>理念を玄関だけでなく、フロアや職員がよく目に付くところに掲げて、日頃より理念について話したり、意識するようになる。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族会などで理念について話している。入居時や入居相談のときにも理念について伝えている。</p> <p>○</p>	<p>広報誌を家族向けに出しているが、こんごは地域向けに広報を作り、理念の理解に努める。運営推進会議等においても地域密着についての理解が深まるよう伝えて行き、実践へとつなげていく。</p>
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩に出かけた際等は挨拶や立ち話をよくするが、地域の方へ立ち寄ってくださるような働きかけまでは出来てない。</p> <p>○</p>	<p>地域の盆踊りとかに出かけた事はあるが日常的な付き合いはまだまだである。現在運営推進会議の中で保育園、地域の方々と交流が行えるよう働きかけている。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>毎年恒例の餅つき会には老人会の方に参加していただいている。地域の方で自分の生きがいつくり、ボランティアとして入居者の話し相手にきていただいたりしている。</p> <p>○</p>	<p>地域の老人会にはまだ加入していないが、今後は地域の活動などにも参加していけるようにする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>地域の資源ごみだし等入居者も一緒に出来ることを少しずつ始めていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>改善予定日を決めて努力を行っているが、今後は目標到達度をもっと上がるようにしていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>全職員に対して成年後見制度の勉強会を行って知識を深めるようにしてゆく。パンフレット等を備え付け家族の相談等にのれるようにする。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>定期的に勉強会を行っているのでその中に組み入れていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を行う前に利用者と家族に、料金、医療体制、介護体制などの実際を説明し理解して頂いている。又説明後すぐ契約するのでなくいったんご家族と相談される時間をとり検討して頂いて契約を行っている。</p>	○	<p>契約後も不備な点がないか家族、利用者のかたに聞いていく。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の方の思いが(意見、希望、不満)なるべく聞けるように職員がゆっくと過ごす時間を作るようにしている。何気ない利用者の気持ちが、全職員に伝わるよう、申し送り等の中で伝えるようにしている。利用者は自分の意見がなかなか言えないこともあるので、ちょっとした態度、変化にも注意し、利用者の気持ちをくみ取れるようにしている。必要であればすぐに対応するようにしている。</p>	○	<p>よりいっそう利用者の気持ちをくみ取れるよう、何気ない一言からその人の望むことが出来るようにしていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が来られた際には、声かけしご本人の様子や、健康状態を伝えている。日頃の様子や外出時の様子を写真にして館内に掲示している。金銭管理については、定期的に報告し家族にサインを頂いている。</p>	○	<p>必要なものを利用者さんが購入する時は家族の同意を得てから行っている。広報の発行回数を増やしていく。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を開いているが家族会の中ではなかなか不満、苦情をだしにくいようなので、ケアプランを説明するときに、ケアプラン以外にもなんでも書いていただくように用紙をお渡しし、意見等を出せるようにしている。出された意見要望は申し送り、職員間で回覧し実現できるようにしている。</p>	○	<p>家族の方が訪問された際には、職員の誰でもが気軽に話しかけ何でも家族の方が話せる関係作りをしていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は職員の要望や意見を聞くように心がけているが難しい部分、自分の意見をなかなか言えない職員もいるので、把握しきれていない部分がある。食事会等を開いて話せる場作りが必要であろう。朝夕の申し送りには、時間が許す限り職員の意見が出せるように時間をかけて行っている。</p>	○	<p>職員からの意見要望について実際により反映できるよう、組織へ働きかけていく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居が事前にわかっている時は、入居にあわせた人員配置を行うこととしている。又利用者の状況で介護量が増えたと判断した場合はそれに合わせた人員配置を柔軟に行っている。</p>	○	<p>急な職員の退職、病気、等にも対応出来るような人員の確保を行っていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニットの職員は固定しており、異動が必要な場合は最小限にしている。異動退職があったときは、利用者の状況に合わせ居なくなる事をきちんと話したり、そっとして説明をしないように工夫している。家族の方にも、不安要素となるので、利用者へのダメージが最小限となるようにしている事を説明している。</p>	<p>○</p>	<p>可能な限り引継ぎが出来るよう時間をとっている。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の年齢性別による採用基準は取っていない、採用した職員の年齢や性別によって、その特技能力を生かして、力を發揮できるよう役割を持ってもらっている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権教育の一環として、法人全体による、各ユニットごとに毎朝倫理に関する本を読んで、仕事を始めるようにしている。</p>	<p>○</p>	<p>処遇研修を外部講師を呼んで行っている。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修会への参加促進や施設勉強会などを実施している。資格取得への手引きなどの案内、奨励を行っている。研修会案内の回覧、希望の研修、講習会があれば勤務等の配慮をしている。</p>	<p>○</p>	<p>新入職員に関して入職時に研修を行うようにしているが、計画を立てて実施できるようにしていきたい。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協議会の研修会等で交流する場があるが、時間的なゆとりがなくなかなか進まない。(福岡県GH協議会、久留米介護福祉サービス事業者協議会)</p>	<p>○</p>	<p>計画的に職員全員が参加できるようにしてゆく。順番に研修会に出席できる体制作り。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の専用休憩室が設置できてない。</p>	<p>○</p>	<p>職員が気兼ねなく休憩できるような場所を確保できるようにする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得や研修に協力的であり、向上心に対して評価を行っている。(資格取得者の表彰や待遇の見直し)		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談時より家族、本人と会って心身の状況を把握するようにはしており、本人も含めた見学を行っている。		
26 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時にご家族が置かれている状況をしっかりお聞きし、家族の望んであることを把握するようにしている。相談時に決定する事をせず、持ち帰って検討して頂くようにしている。キーパソンだけでなくほかのご家族と相談して頂く様にしている。	○	利用に結びつかない状況での相談も、時間をとって話をお聞きしている。
27 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に緊急な対応が必要なのか、時間をかけて進めてもよいのかを判断し、空き部屋がある場合は短期利用などを進めたり、まだ其の必要性が低い場合は在宅サービス等の利用の説明を行っている。		
28 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	在宅より相談があった場合は時々遊びに来ていただいたり、空室がある場合には泊まっていたりして、リロケーションダメージを最小限に出来るように工夫している。施設からの入居の場合は何度か訪問等をして頂くようにしたり、入居しても家族の訪問の機会をなるべく多くしていただくように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	夜勤の職員は利用者とはゆっくり話したり、夜勤時に慰労のことがばかきをして頂いたり、利用者の方が出来る範囲の中で、役割を持って過ごしてもらっている。新聞取り、茶碗拭き、洗濯物たたみ、買い物の手伝いなど。利用者が得意とされる事柄について話を聞いて教えていただく機会を持っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日頃の様子を家族が訪問された時に話したり、行事の写真、日頃の写真を見ていただき、一緒に楽しんでいけるように支援している。	○	時間が許す限り家族の方と話す時間をとるようにしている。行事をするときは案内を出したり、声をかけて一緒に参加していただいております、今後も力をいれていきたい。
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族、本人の状況を考えた上で、家族の方が関われるように配慮したり、訪問しやすいように関係作りをしている。電話をこちらからかけたり、こまめに様子を話している。家族が来られたときは職員も一緒に話したり、お茶を飲んだりしている。	○	よりきめ細かな日頃の状況を伝えられるように工夫してゆく。(記録を見ていただいたり)
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の方が入居する前にしてあった親戚友人への、お歳暮、贈り物、手紙のやり取り。友人宅への訪問、歌舞伎見学などの継続が出来るように支援している。馴染みのヤクルト販売の方の訪問。		
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	相性のよい方そうでない方を理解して、食事のときの席の配置や入浴の組あわせなどを関係作りが上手くいくように配慮している。外出時の組み合わせなどの工夫。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	これまでのサービス利用終了の方で継続的な関わりを必要とされる方がなく、具体的な取り組みはまだない。今後継続的な関係が必要な方があれば、取り組みを行っていく。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活歴や、趣味、生活習慣などからその人が好む事、好むものなど情報を集め、思いや意向を把握している。本人の意思表示が困難なとき、困難な人については、本人の表情、しぐさ等で思いをくみ取っている。	○	意思表示の困難な方は、家族などに聞き取りを行い希望、意向の把握に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族や知人の訪問時に生活習慣や、それまでの暮らしの様子を聞き取るようにしている。入居前、入居時に話を聞いて本人の様子を知るようにしている。入居されてからも本人さんからの話を聞いて把握するようにしている。</p>	
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入居者一人一人の生活リズムを第一に考え全員一緒にする事はなるべく避けている。一人一人のできる事をなるべく発揮できるように小さなことでも、申し送りノート、などを活用し細かなところにも気を配っている。</p>	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎日の申し送りや定期のケアカンファレンスでケアプランや問題点を話し合っており、即対応できるようにしており、家族にも日頃の関りについて話している。</p>	
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状態に変化があった場合はすぐに、申し送りや話し合いを行って随時プランの見直しをおこなっている。家族等には随時説明を行っている。</p>	<p>○ 介護計画の見直しは期間に応じて行っていく様になっているがご本人の変化やプランが大きく変わらないようなときは、時期が遅れていくときもあるので、今後は定期的な見直しをおこなっていく。</p>
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録について、実践、気づきを行うようにしているが、統一した記録がなかなか出来にくい。入居者の変化が大きい時はその部分について変化がわかり易いように記録するようにしている。少しの変化でも記録し全職員へ伝えて行くようにしている。</p>	<p>○ ケアプランと日頃のケアの連携がみれるような記録の工夫をしていきたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院隣接の為医療面の支援はしっかりできている。デイサービス併設であり、在宅からの方のリロケーションダメージがなるべく小さくすむように、デイサービスを利用したり、空室を利用したショートステイの利用を行っている。地域の美容室、病院への通院などの支援を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>入居者の状況を考慮しながら、専門学校での職場体験、高校生の個人的な体験実習の受け入れをしている。地域高齢者のボランティアの受け入れは行っている。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>グループホームの生活がなじみ難い方には、家族と相談してデイサービス等の利用を話したりしている。訪問理美容、訪問歯科は利用している。</p>	<p>○ 積極的な他のサービス利用が出来るように社会資源サービスを検討していく。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの方に来てもらっているので地域の方より、『生きがい』の為ボランティアをしたいという相談があり今後は、包括支援センターと相談しながら支援してゆきたい。</p>	
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>契約時にかかりつけ医の受診が継続できる事を説明しており、事業所の協力医を受診するときは必ず了承を得ている。通院についても可能な限り通院介助を行っている。又ご家族にも出来る範囲内で通院に付き添っていただき結果がわかるようにしている。受診後の結果は家族に報告し、状況がわかるようにしている。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>開設時より専門医を協力病院としている、協力医のみでなく複数の専門医と相談し、その方にあった専門医に見ていただいている。必要な時は電話のみでも相談にのっていただいている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>職員に看護職員を配置して、日頃より相談しながら健康管理を行っている。又関連事業所の訪問看護ステーションとの連携をとっており、夜間の緊急時にも24時間電話での対応が出来るようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	「尊厳」についての勉強会を行っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>もっと気軽に自分の行きたいところに行けるように支援してゆきたい。家族の協力を得たりしながら行っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>公衆電話を設けて、気兼ねなく家族や知人に電話が出来るようにしている。又家族からの電話を取り次いだりしている。手紙は自分で書かれたものをポストに入れたり、自分で投函したいときは一緒についていっている。</p>		
66	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>訪問時間は決めておらず、家族の方が来れる時間にいつでも来れるように配慮している。職員も家族の方に気を使われないように、日頃より親しく慣れるように対応している。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
67	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>グループホームケア自体が拘束をしないケアを基本としている事を職員が理解しており、日々の支援を行っている。</p>		
68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>日中鍵を掛けることはなく、自由な暮らしを支援している。もし出られるときは遠巻きに、見守りを行ったり(必要に応じて)どこめることがないようにしている。閉じ込める事の弊害を職員は理解している。</p>		
69	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>日中は必ずスタッフが1名フロアにいて、入居者の方ようすを見守っている。申し送りの時間も、入居者の様子を見守りながら行っている。入居者がどこにいられるのか職員同士で把握して、あんぜんの確保にこころがけている。記録等も、入居者の傍で行っている。職員が外に出掛けるときはお互いに声かけて状況のはあくを行っている。夜間は全体が把握しやすい場所にて待機している。</p>		
70	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>共同生活の場所では、危険がない様保管管理しているが、個人の持ちものについてはその方の状況に合わせて危険と思われる方のみ預かっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>地域の協力体制が出来るよう、地域運営推進会議に働きかけていく。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎朝、乳製品(ヨーグルト)を飲んでもらったり、水分が不足している方にはおやつに工夫(本人が好んで飲まれるもの)している。</p>	
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>一人一人に応じた歯磨きの援助をしている。就寝前には義歯の洗浄をおこなっている。年に1度歯科に口腔内の検診を行ってもらっている。必要な人には治療とうを進めている。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は栄養士が栄養バランスを考え、高齢者の好み等も考慮して立てている。食事の量は個人の食べる量をあらかじめ把握した上でその方にあった量、習慣に合わせたものを支援している。食べられた量を記録して入る。</p>	
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染マニュアルを作成し、予防対策に努めている。職員、入居者には同意を得てインフルエンザの予防接種を受けている。肺炎等についても希望者には肺炎球菌ワクチンなどの接種の説明を行っている。感染対策委員会があり対策と予防に努めている。</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>まな板食器類は使用后、食器乾燥機にて乾燥し、衛生管理に努めている。賞味期限のチェックを行ったり、冷蔵庫ないの定期清掃を行っている。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関や中庭に花や季節の野菜を植え季節感をだしたり、椅子を置いて雰囲気作りをしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	飾りつけ、掲示物などもっと家庭的な雰囲気を出せるように工夫していきたい。
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	湿温度計を設置し冬の乾燥、梅雨時の不快にも配慮していく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	廊下の広い部分にも手すりが必要かと思われる。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	浴室がわかりやすいようにのれんを検討する。
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらい
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらい
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input checked="" type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/>	③たまに
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

季節の行事だけでなくその人の生活歴や好みに重点を置き、デパートへの買い物、歌舞伎見学、段通の展示会、美術館での絵画鑑賞に出かけている。年1回の無料歯科検診の実施。急変時でも隣接病院との24時間体制ができています。理念について全職員で話し合い、それに向けた取り組みを実践している。(ユニットごとの目標作りと、スタッフ各自の目標設定、と反省) 住環境について認知症の方が混乱しにくい工夫がなされている、職員が住環境の良さを理解しケアへとつないでいる。